

グローバル・スタートアップ・キャンパス構想に関する
ステアリング・コミッティの設置について

令和7年7月9日

内閣府科学技術・イノベーション推進事務局統括官決定
(最終改訂：令和8年4月1日)

1. 趣旨

グローバル・スタートアップ・キャンパス（以下、GSC）構想では、国内外の優秀な研究者、スタートアップ、ベンチャーキャピタル（VC）・アクセラレーター・企業を呼び込み、我が国全体のイノベーション・エコシステムの変革を促進し、世界最高水準のイノベーション・エコシステムのハブを構築することをミッションとしている。

世界から優れた人材・投資を集める呼び水となるよう、海外大学等とも連携し、①研究者・投資家等の集積に向けた国際研究、②事業化支援、③人材育成（フェローシップ）を先行的活動として一体的に実施し、これらの取組を通じて、本構想の実現に向けた取組の具体化・高度化につなげるとともに、ステークホルダーとのパートナーシップを構築する。

「グローバル・スタートアップ・キャンパス構想 先行的活動に関する実施方針（令和7年6月10日、内閣官房グローバル・スタートアップ・キャンパス構想推進室長決定）」に基づく先行的活動のプログラム全体の運営、その他 GSC 構想の推進に係る事項について助言を得るため、外部有識者からなるステアリング・コミッティ（以下、コミッティ）を設置する。

2. 構成

- (1) コミッティの構成員は、別紙のとおりとする。
- (2) 座長は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求めることができる。

3. 議事

- (1) 会議の議事については非公開とする。ただし、座長が会議を公開することが適当であるとしたときは、この限りではない。
- (2) 会議開催後速やかに、議事概要及び資料を公開する。ただし、座長は、先行的活動の提案内容に関する事項などについては、必要に応じ、資料を非公開とすることができる。
- (3) 上記のほか、会議の運営に必要な事項は、座長が会議に諮って定める。

4. その他

コミッティに関する庶務は、内閣府科学技術・イノベーション推進事務局において処理する。

構成員

齋木 敏治	慶應義塾常任理事 慶應義塾大学工学部 教授
佐藤 康博	内閣府総合科学技術・イノベーション会議 非常勤議員 株式会社みずほフィナンシャルグループ 特別顧問
清水 信哉	エレファンテック株式会社 代表取締役社長
鈴木 蘭美	ARC Therapies 株式会社 代表取締役社長 ARCHIMED GROUP マネージングディレクター
ファルザネファ アリ	トニー・ブレア・インスティテュート アドバイザー
宮園 浩平 ※座長	内閣府総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員
山本 貴史	株式会社理研イノベーション 代表取締役社長 東京大学エクステンション株式会社 代表取締役社長

※令和8年4月1日時点